

企業と従業員の健康課題への認識に関する調査

(女性健康編 抜粋資料)



株式会社マイナビ メディカル事業本部 事業開発部

テーマ

従業員の健康に関する調査

調査手法

GM0オンラインリサーチ

本調査対象条件

- 1)全国在住の22-65歳男女
- 2)従業員数100人以上の企業に勤務
- 3)以下のいずれかに該当
 - 人事・労務・企業内の健康経営担当
 - 一般(上記以外)の男性
 - 一般(上記以外)の女性

総回収数

本調査 1,076人

回収内訳

- 人事・労務・企業内の健康経営担当:354人
- 一般(上記以外)の男性:388人
- 一般(上記以外)の女性:334人

調査時期

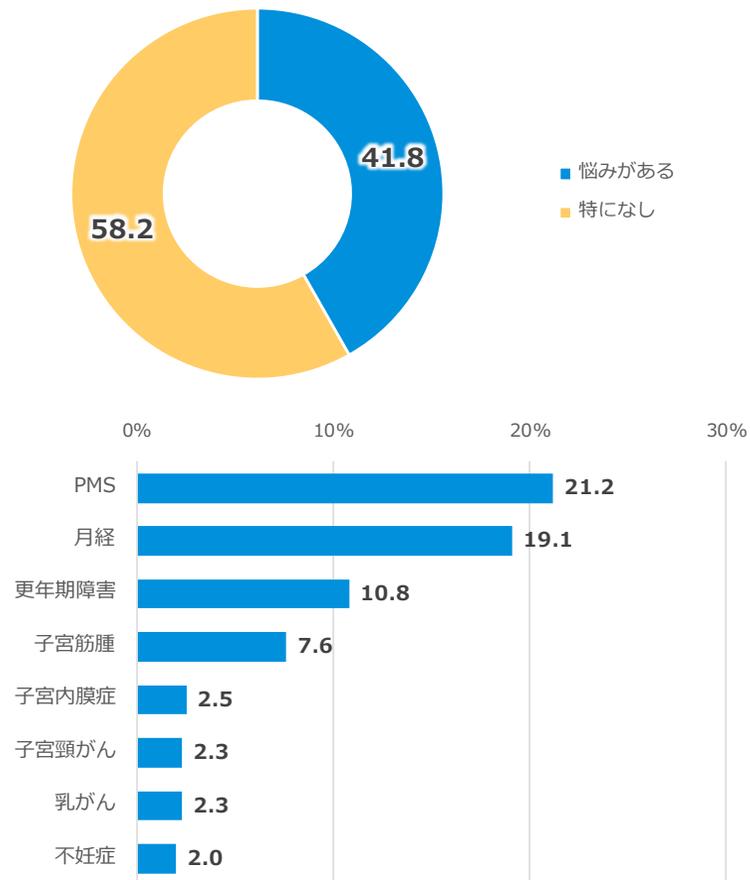
2023年3月13日(月)～2023年3月14日(火)

設問番号	設問内容	対象	ページ
Q19	現在、女性特有の健康課題(月経・PMS・更年期障害など)に関するお悩みはありますか(ベース:女性)	従業員	4
Q20	女性特有の健康課題(月経・PMS・更年期障害など)に対してどのような対策をとっていますか(ベース:女性)	従業員	5
Q21	キャリアを築く上で、女性特有の健康課題や症状が原因で何かをあきらめたご経験について教えてください(ベース:女性)	従業員	6
Q22	女性特有の健康課題や症状を抱えながらのキャリアを築く為に必要と感じたサポートは何ですか(ベース:女性)	従業員	7
Q23	これまでに女性特有の健康課題について学ぶ機会がありましたか(ベース:男性)	従業員	8
Q24	職場で男性向けの女性健康課題に関する正しい知識を学ぶ機会がある場合、受けたいと思いますか(ベース:男性)	従業員	9

女性特有の健康課題対策に関する従業員側の意識

- 悩みを感じている人は全体の**41.8%**。悩みの内容は「PMS」と「月経」を挙げる人が多い。
- 企業に整備を求める制度・サポートでは通院しやすくするための勤務体系や休暇制度が挙げられている。

▼Q8.女性特有の健康課題に関する悩み(n=397)



(単位：%)

▼Q9.健康課題を抱えながらキャリアを築くためのサポート(n=397)

1	受診や休暇が取りやすい制度設計 50.4%
2	上司や部署内のサポート 29.7%
3	企業全体の業務分担や人員配置の考慮 24.7%
4	婦人科医に直接相談できるサポート 21.9%
5	外部相談窓口の設置 20.4%

▼Q10.企業に整備してほしい制度・サポート (n=397)

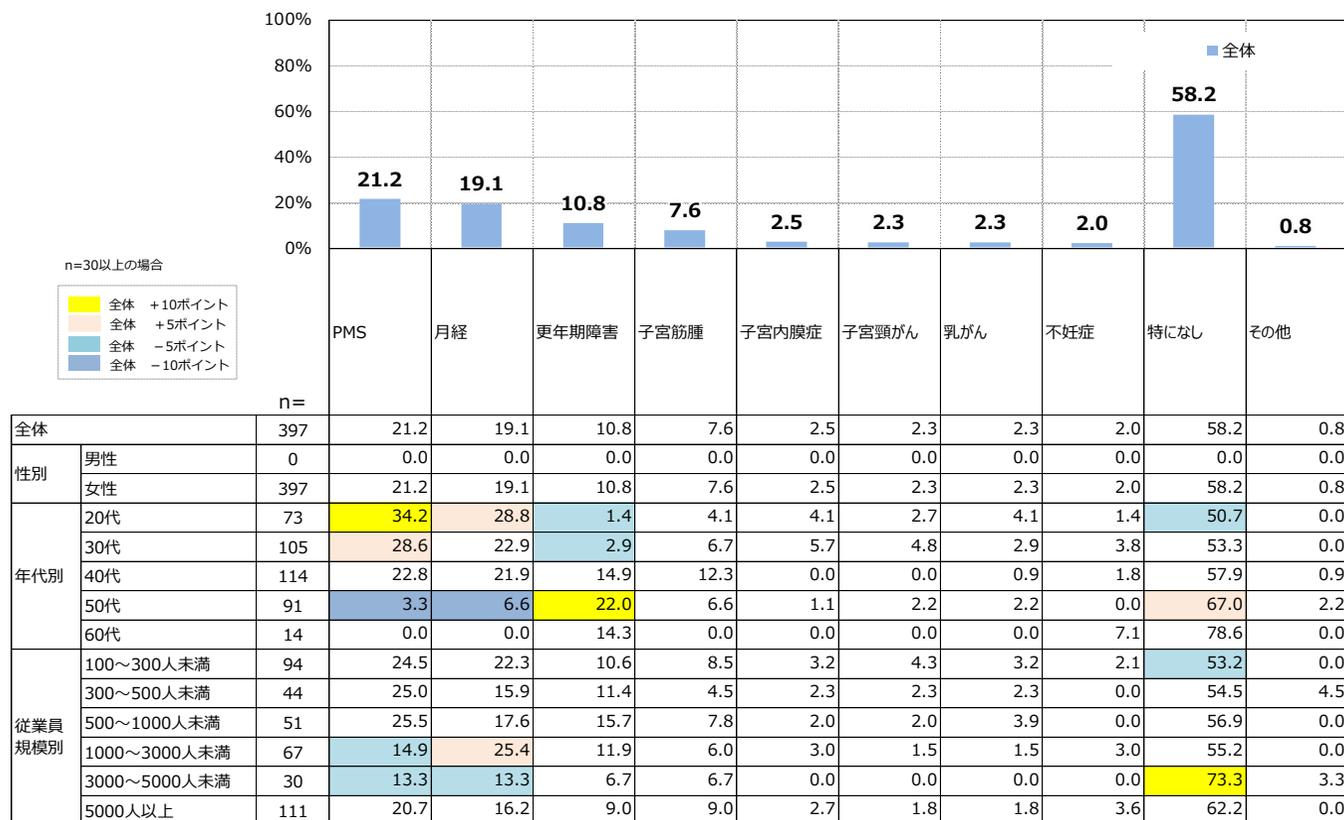
1	医療機関受診のための休暇制度 33.2%
2	通院しながら仕事をできる勤務体系や時間休の整備 29.2%
3	テレワークの自由化 25.7%
4	生理休暇や不妊治療休暇などを総称した別名称の休暇制度の設計 24.7%
5	生理休暇 23.7%

2.従業員側(女性健康編)

女性特有の健康課題に関する悩み

- 全体で最も多い回答は「PMS」21.2%で、次いで「月経」19.1%、「更年期障害」10.8%である。
- 年代別にみると20代では「PMS」が、50代では「更年期障害」が高い。
- また従業員規模別にみると3000～5000人未満では「特になし」が高い。

▼Q19.現在、女性特有の健康課題(月経・PMS・更年期障害など)に関するお悩みはありますか [MA]



※項目の並び順は全体の結果をもとに降順にソートしている

(単位：%)

2.従業員側(女性健康編)

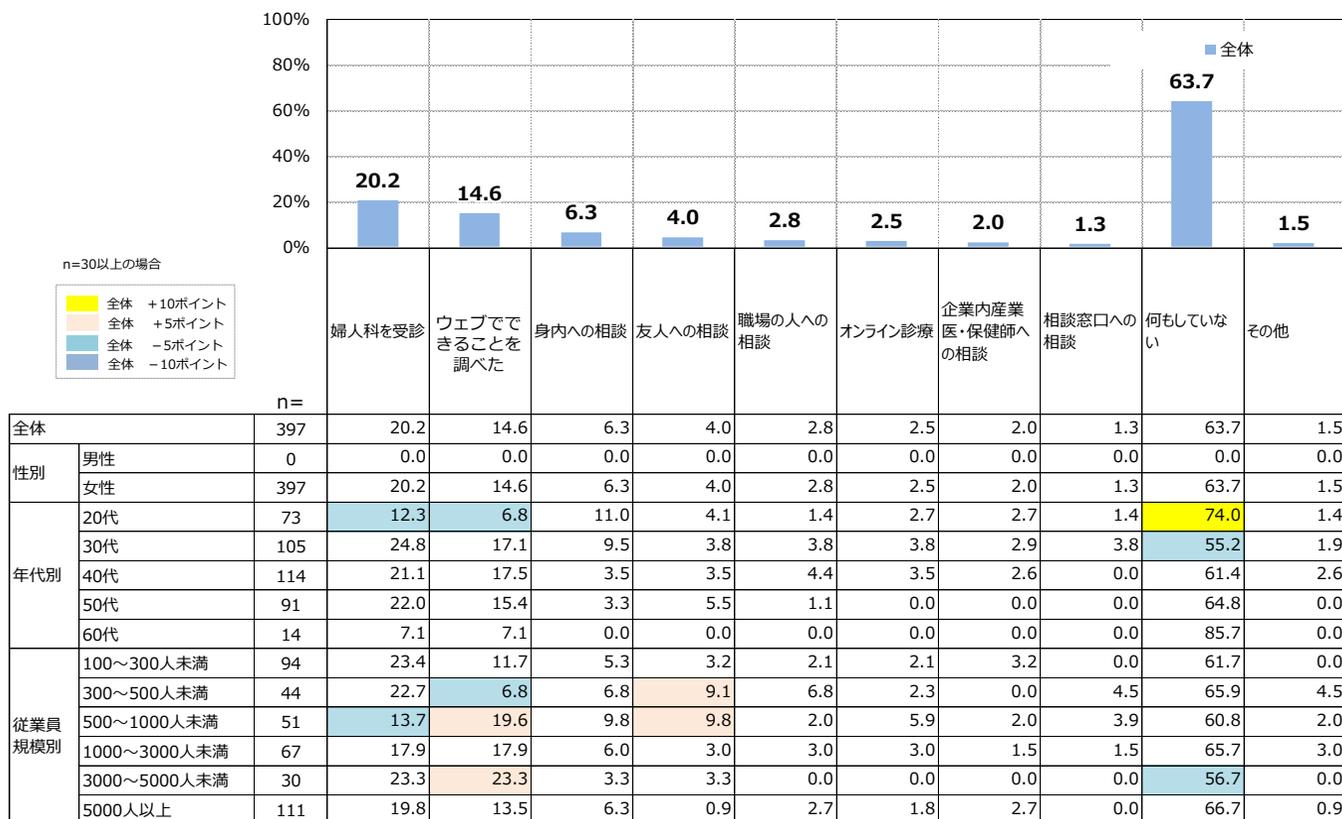
女性特有の健康課題の対策

■全体で最も多い回答は「婦人科を受診」20.2%で、次いで「ウェブでできることを調べた」14.6%である。

一方で「何もしていない」が63.7%と高いのが目立つ。

■年代別にみると20代では「何もしていない」が高く、「婦人科を受診」「ウェブで検索できることを調べた」がやや低い。

▼Q20.女性特有の健康課題(月経・PMS・更年期障害など)に対してどのような対策をとっていますか [MA]



※項目の並び順は全体の結果をもとに降順にソートしている

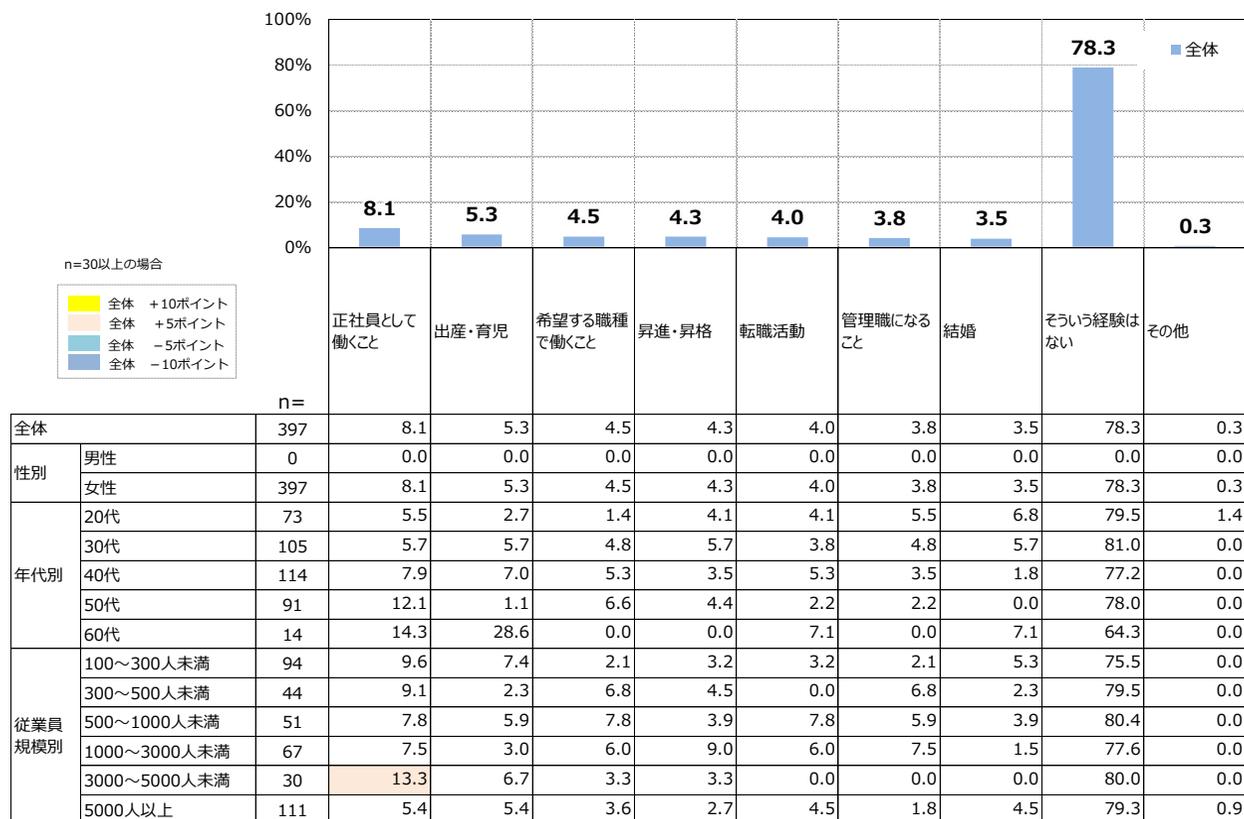
(単位：%)

女性特有の健康課題が原因で何かをあきらめた経験

■何かをあきらめた経験のある女性は21.4%。

あきらめたことは「正社員として働くこと」が最多で、「出産・育児」「希望する職種で働くこと」「昇進・昇格」など。

▼Q21.キャリアを築く上で、女性特有の健康課題や症状が原因で何かをあきらめたご経験について教えてください [MA]



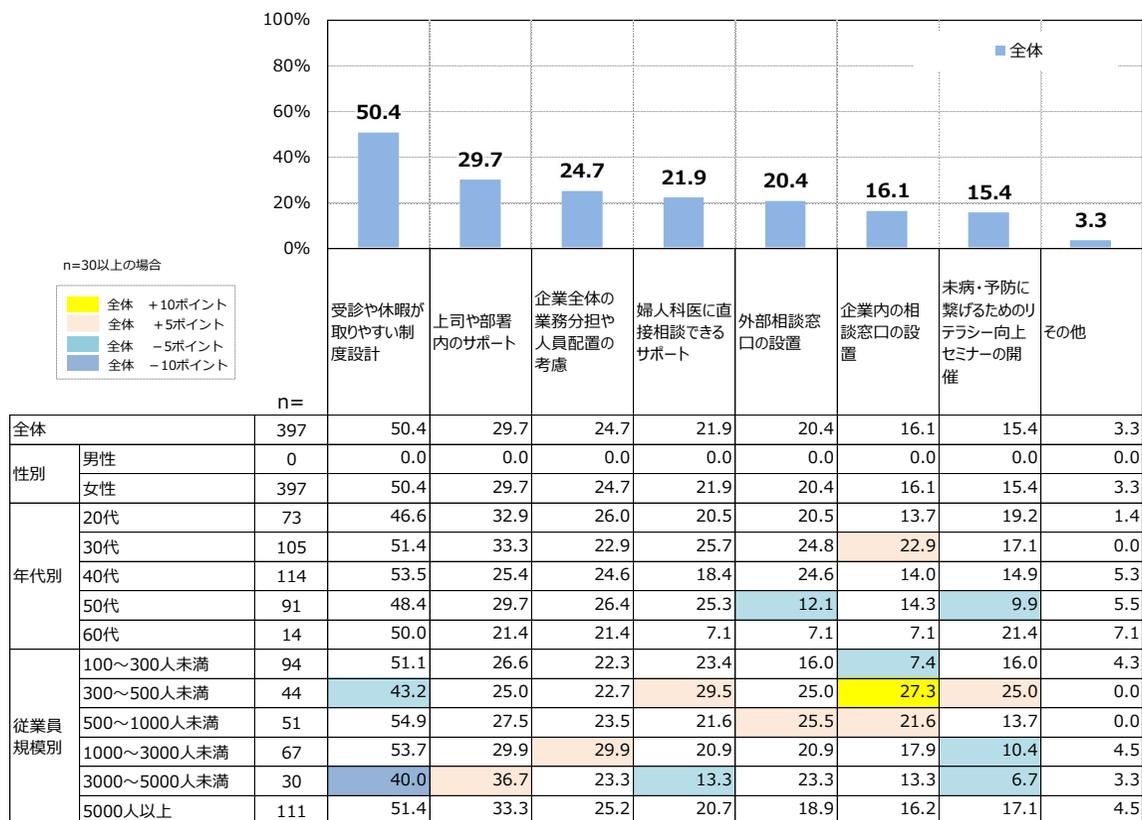
※項目の並び順は全体の結果をもとに降順にソートしている

(単位：%)

女性特有の健康課題を抱えながらキャリアを築くために必要なサポート

- 全体で最も多い回答は「受診や休暇が取りやすい制度設計」50.4%で、次いで「上司や部署内のサポート」29.7%である。
- 従業員規模別にみると300～500人未満では「企業内の相談窓口の設置」が高く、「婦人科医に直接相談できるサポート」「未病・予防に繋げるためのリテラシー向上セミナーの開催」もやや高い。

▼Q22.女性特有の健康課題や症状を抱えながらのキャリアを築く為に必要と感じたサポートは何ですか [MA]



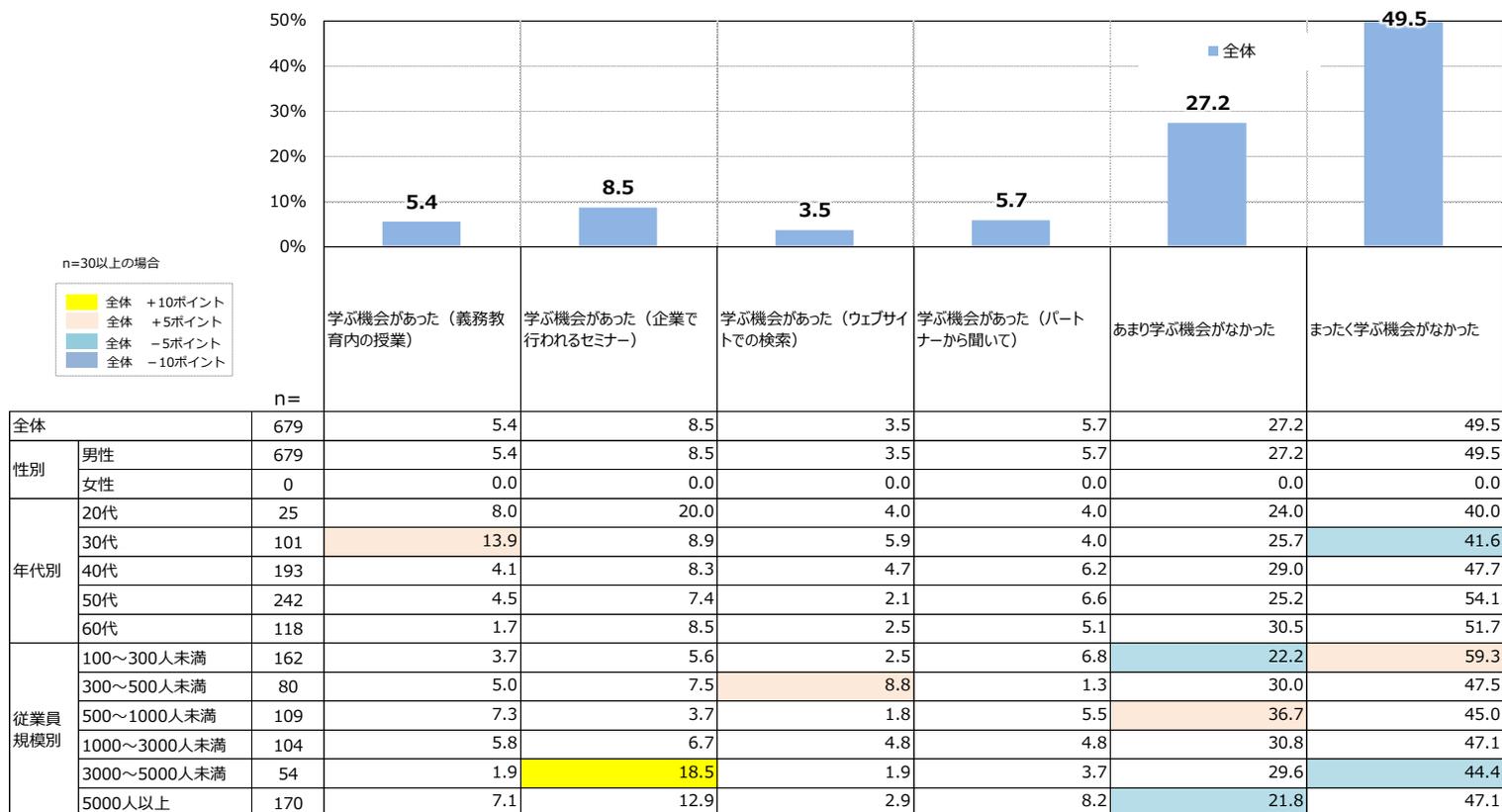
※項目の並び順は全体の結果をもとに降順にソートしている

(単位：%)

女性特有の健康課題について学ぶ機会 ※男性回答

■全体で最も多い回答は「まったく学ぶ機会がなかった」49.5%で、次いで「あまり学ぶ機会がなかった」27.2%となっており、学ぶ機会がなかったとする層が全体の8割近くを占めていることになる。

▼Q23.これまでに女性特有の健康課題について学ぶ機会がありましたか [SA]



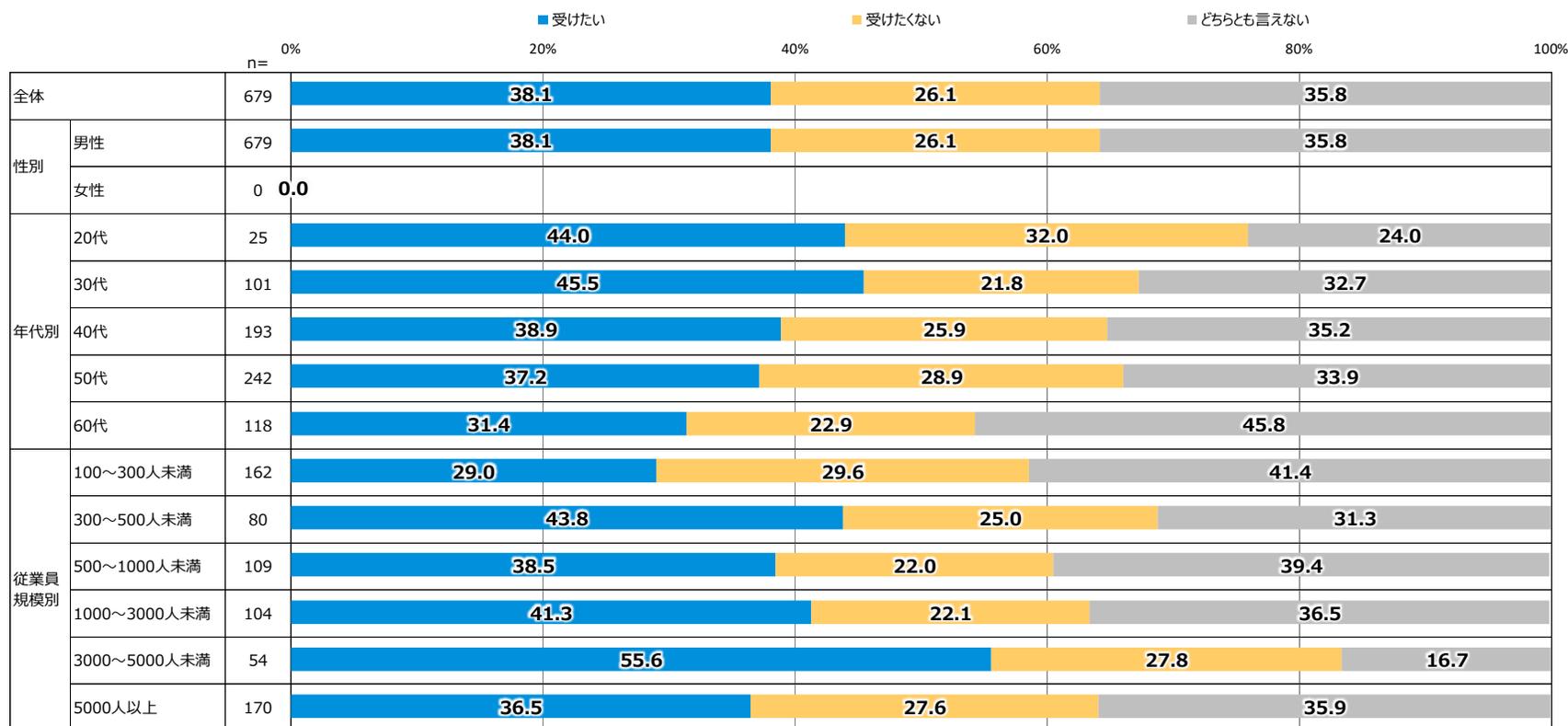
(単位：%)

男性向けの女性特有の健康課題について学ぶ機会への参加意向

■「受けない」と回答したのは全体の38.1%。

■「受けない」と回答した割合をセグメント別に比較すると、年代別では30代は4割を超え、従業員規模別では3000～5000人未満が55.6%で最も高い。 ※30人未満のセグメントは除く。

▼Q24.職場で男性向けの女性健康課題に関する正しい知識を学ぶ機会がある場合、受けないと思いますか [SA]



(単位：%)

マイナビでできる健康課題対策を支援するサービス

従業員の健康課題 解決サービス

welltowa

welltowa（ウェルトワ）とは…

「女性特有の健康課題」「従業員が抱える心身の健康課題」を始めとした、健康課題解決を支援するサービスです。従業員が毎日いきいきとベストな状態で働くために必要な情報や学び、アドバイスを提供します。病気の予防や早期診断・早期治療、セルフメディケーションを促すことで、従業員の健康課題の解決とウェルビーイング実現を支援し、企業価値の向上に寄与することを目指します。

service
01

女性の健康課題を
理解・発見・解決へ導く

女性健康サービス



service
02

いつでも、気軽に、LINEで
心と体の専門家に悩み相談

健康相談サービス



HR サービスをメインに取り扱うマイナビだからこそ、

「採用すること」のみならず、「採用したあと」の環境づくりも支援し、企業が永続的に成長できるよう働く人すべての「健康課題解決」に取り組みます。

マイナビでは「健康」を軸に、「働きやすい環境」の提供をし、企業価値の向上を目指してまいります。

【welltowa お問い合わせ窓口】

☎：03-6267-4360

✉：med-healthcare@mynavi.jp